

レファレンス だより

2013年11月号
No. 132

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。(法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。)

■レファレンス受付件数 (2013年8月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
119	2143	448	380	562
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
443	89	1904	1465	7553

(開館日 27日 一日平均 280件)

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月のレファレンス徹底解説!

Q: 虫送りという行事について知りたい。



■事典類

『日本民俗大辞典 下 た〜わ・索引』(福田 アジオ/[ほか]編 吉川弘文館 2000年) 2階 D7 R380.33/ニ
稲につく害虫を追い払う行事。虫追い・虫祈禱・サネモリ(実盛)オクリ・ウンカ送りなどとも。かつて日本各地の農村で盛んに行われたが、現在はほとんどすたれている。田植えが終わる5月頃、害虫の発生しやすい7月頃等、稲の生育に重要な時期に行う。村人が地域の寺社に集まり神事や法要を行った後、松明の火を焚(た)き、鉦(かね)や太鼓を叩き大声で唱え言をしながら幟や札を掲げて行列を組んで水田を巡り、稲に付いた虫を集め村境まで送り出すという方式が一般的。西日本の行列ではサネモリサマと呼ぶ藁藁で作った大きな人形を担いだり藁馬に乗せて運んだりする例が多い。この由来とされる斎藤実盛の伝承について詳しい説明と、唱え言葉の例がある。

『祭・芸能・行事大辞典 下 た〜ん 付録・分類索引』

(小島 美子・鈴木 正崇/監修 朝倉書店 2009年) 2階 D7 R386.1/マ

ウンカ送りのウンカはカメムシ目ウンカ科の昆虫の総称で、イナムシとも呼ばれる稲の大害虫。行事で歌う「虫送り歌」の例として、福岡県旧吉井町の「実盛虫は老人だ、あとから手塚が追いかける、アラ虫あーいーいー」が挙げられている。

■民俗学関連

『日本民俗地図 1 年中行事 1』(文化庁/編集 国土地理協会 1972年) 2階 D7 382.1/ニ
地図と解説書で構成した資料。虫送り行事について、各地での呼称と行事内容をそれぞれ白地図上に記号で示しているため、類似点や相違点を視覚的にとらえることができる。解説書では日本各地の例を紹介し、福岡県については合川、上野、伊田の例がある。

「生産儀礼と仏教 稲虫送りと斎藤実盛」田中久夫著

(『大系仏教と日本人 9 民俗と儀礼』(春秋社 1986年) 2階 B8 182.1/タ 所収)

古今の資料から、日本各地の虫送りについての記述を引用し比較。また各地の虫送りにおける斎藤実盛との関連について相違点等を挙げ論じている。多数の注釈があり、それ自体も本文同様解説が詳しい。

■斎藤実盛関係

『サネモリ起源考』(伊藤 清司/著 青土社 2001年) 2階 D19 384.31/イ

日本における虫送りの起源と沿革について、中国との比較研究の立場から考察。数多くの日中の文献から虫送りに関する資料を調査し、類似点などを挙げ、斎藤実盛の伝承について詳しく論じている。



その他にもこんな質問がありました

Q：マンホールのふたに付いている絵柄の意味などを知りたい。

■下水道関連

『**グラウンドマンホールデザイン 250 選**』（水道産業新聞社 1993 年）閉架書庫

近年公共施設がデザイン的にも注目されているのに比べ、下水道施設はほとんど地下に埋まっているため人々の目にふれることが少なく、そのような中でただ1つ目につくものが「マンホールのふた」であり、住民の方々へ親しみを持って眺めていただくという目的でデザイン化、カラー化する自治体が増えてきたとある。全国の地方公共団体から集めたマンホールのデザインの中で、日本下水道協会が選んだものを紹介。多々良川流域の6町の町花をデザインした福岡県のものや、「飛梅」で有名な太宰府市の梅のデザイン、ムツゴロウをデザインした佐賀市などがとりあげられている。

全国の図書館が協力して作る調べものためのサイト

■インターネット

国立国会図書館>調べ方案内>レファレンス協同データベース【<http://crd.ndl.go.jp/reference/>】

「マンホール」「デザイン」で検索をかけると似たような質問項目が見つかった。回答に『**マンホールのふた 日本篇**』（林 文二／著 サイエンス社 1984 年）という資料が挙げられている。当館は所蔵していないが、近隣の福岡県立図書館が所蔵しており、取り寄せも可能。

■外部施設

ぼんプラザ下水道PRコーナー（博多区祇園町8-3 ぼんプラザ2階【**チャンネルシティ博多横**】）

下水道について学ぶことができる福岡市の施設。市のマンホールデザインの由来などについても知ることができる。

Q：狩猟免許を取りたいのだが、免許の詳細や試験内容について教えてほしい。

■資格取得の参考図書

『**資格取り方・選び方オールガイド 2014 年版**』（日本文芸社 2012 年）2 階 G2 R366.29/シ/キカ 6

様々な分野の資格について概要・取得方法などがわかるガイドブック。「狩猟免許」の項目を確認すると、受験資格や試験内容がわかる。問い合わせ先として各都道府県の鳥獣保護担当とある。

■狩猟関連の図書

『**野生動物管理のための狩猟学**』（梶 光一・伊吾田 宏正／編 朝倉書店 2013 年）2 階 E12 659/ヤ

狩猟を科学として扱う「狩猟学」の入門書。「ハンターになるには」というコラムには狩猟免許試験の内容である知識・適正・技能試験の詳細がある。また免許取得後、実際にハンターとして活動するためのアドバイスもあり。

『**鳥獣保護法の解説 改訂 4 版**』（鳥獣保護管理研究会／編 大成出版社 2008 年）2 階 E12 659.7/チ

「狩猟免許」の項目に試験内容や講習、更新についての詳しい解説あり。

■インターネット

福岡県庁【<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>】

>畜産課>新たに狩猟をしようとする皆さんへ（**狩猟免許試験のご案内**）

福岡県の狩猟免許は畜産課が担当している。試験日や試験会場の案内がある。

Q：「蟻（あり）が巣の穴をふさぐと雨」のような、天気まつわることわざや言い伝えなどが載っている本はあるか。

■事典

『**天気予知ことわざ辞典**』（大後 美保／編 東京堂出版 1984 年）2 階 E1 R451.28/タ

天気を予知することわざと解説が月別にまとめられている。また、解説はないが、天気別の日本各地に伝わることわざ総覧もあり。

『**雨と風のことば**』（加藤 迪男／編 岐阜新聞社 2003 年）2 階 E1 R451.64/カ

雨と風のことわざや俗説の一覧あり。

■気象関連

『**天気を読む日本地図**』(山田 吉彦／著 PHP 研究所 2003 年) 閉架書庫

日本各地に残る日和見の話、事象別の観天望気(かんてんぼうぎ)の言い伝えがまとめられている。観天望気とは太陽や星の見え方、風や雲の動きから天気を読むことをいう。科学的に実証された観天望気的の中率も載っている。これによると「雨がエルが鳴くと雨」は66%(年平均)となっている。

『**天気がわかることわざ事典**』(細田 剛／編 自由国民社 1991 年) 閉架書庫

気象予知のことわざが紹介されているだけでなく、科学的な裏付けや図、著者自身による実験を盛り込んだ内容となっている。蟻(あり)による天気の予想については「庭で見かける普通の蟻はくろありの仲間で、これにより天気を予知することわざが全国的に言われており、そのほとんどが雨・大雨・洪水の予知である」とある。また2年間の観察による著者の考察がまとめられている。

『**観天望気のウソ・ホント**』(飯田 睦治郎／著 講談社 1989 年) 閉架書庫

全国各地に伝わる天気に関する代表的なことわざを取り上げ、科学的妥当性を検証している。

Q：川端康成の全集未収録作品で、『美しい!』という小説が発見されたと聞いたが、どんな作品か？
また、読むことはできるか？

■新聞

『**読売新聞 2013 年 2 月 17 日(日) 社会面(35 面)**』2 階新聞コーナー

福岡市文学館のボランティアが、埋もれていた川端作品を86年ぶりに発掘した、という記事。川端自作の年譜にも記載されていなかった全集未収録作品で川端初の新聞小説。この『美しい!』を「同じテーマで全面的に書き直した作品」が、後に発表された『美しい墓』ではないかと「推測される」とある。

『**西日本新聞 2013 年 2 月 18 日(月) 社会面(18 面)**』2 階新聞コーナー

「西日本新聞の前身、福岡日日新聞に、ノーベル賞作家川端康成が1927(昭和2)年、27歳のときに連載した新聞小説が話題を呼んでいる。『美しい!』という短篇で、障害がある息子を温泉地に住まわせる実業家の父親が主人公。息子は同じ境遇の少女と引かれ合い、父親は2人に「美しい」という感情を抱く物語。同年4月11日から週1回、学芸欄に4回にわたって掲載された」とある。

『**福岡日日新聞 昭和2年4月11日(月)～5月2日(月)**』マイクロフィルム

学芸欄に4回分の初出掲載が確認できる。

■雑誌

『**中央公論 2013 年 8 月号**』(中央公論新社)1 階雑 79

「86年ぶりに日の目を見た、初の新聞小説 全文一挙掲載」という見出しで『美しい!』の掲載あり。原文のまま掲載しているが、「掲載にあたっては新字旧かなで統一し、明らかな誤植を訂正」とある。

Q：国連の資料で、サンフランシスコ講和条約が英語と日本語で書かれている資料はあるか。

サンフランシスコ講和(平和)条約=Treaty of peace with Japan

■所蔵資料

『**United Nations Treaty Series Cumulative Index No. 2**』(United Nations 1958 年)

2 階国連 A1 T/CUM. INDEX/2

国連加盟国間で締結された国際協定・条約集が収録された『United Nations Treaty Series (国際連合条約集)』のCumulative Index(累積索引)。国際協定・条約を年代順・キーワードのアルファベット順で調べることができる。「Japan(日本)」の項に1951年の当条約を確認。136巻に掲載されていることがわかる。

『**United Nations Treaty Series volume 136**』(United Nations 1955 年) 閉架書庫

1951年9月8日に締結された本条約は、英語、フランス語、スペイン語、日本語の4か国語で作成され(当時国連公用語だった英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語のうち本条約に加わらなかったソ連と中国を除き当事国である日本語を加えたもの)当資料でもその4か国語で掲載。また、署名国49カ国の全権代表による署名も全て掲載されている。なお、『United Nations Treaty Series』は、当館では1946年の第1巻から2009年出版の第2408巻まで、及び索引集を所蔵。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今の一冊！

『プロ野球 70 年史 歴史編 1934→2004』
『 “ ” 記録編 1934→2004』

(ベースボール・マガジン社／編 ベースボール・マガジン社 2004 年) 2 階 C13 R783.7/7°

日本のプロ野球が発足した 1934 年(大日本東京野球倶楽部(東京巨人軍)が発足した年)から 2004 年までの 70 年の歴史を、年代別にまとめた資料です。

『歴史編』は年毎に両リーグの成績、タイトルホルダー(MVPや首位打者など)、年表を記載しています。写真が多く、コラム形式でその年のトピックスも収録されています。有名選手へのインタビューや、その年に話題となった事件等を“世相、あの時…”で紹介しており、時代背景を感じることができます。

『記録編』は年毎に各チームのメンバー表と全試合の試合結果(球場、相手、勝敗、スコア、責任投手、安打、本塁打、順位)を掲載しています。

使ってみました!⇒“1999 年の日本シリーズ、福岡ダイエーホークスの初優勝”について調べる!

『歴史編』の 1999 年を見ると“ベテランの活躍でダイエーが圧勝、41 年ぶりにチャンピオンフラッグが九州へ”の見出しで掲載あり。「福岡ソフトバンクホークス」の前身である「福岡ダイエーホークス(1993 年～2004 年)」が、南海から球団変更ならび福岡移転 11 年目にして初の優勝であったことや、日本シリーズの試合経過、最高殊勲選手などもわかります。また、1999 年は平成の怪物「松坂大輔」のデビューした年であったこともコラムでわかります。

『記録編』では、メンバー表や「78 勝 54 敗 3 分け / 勝率.591」の全試合結果が確認できます。

同じ棚(C13)には、このほかの野球大会を調べる資料もあります。

『全国高等学校野球選手権大会 70 年史』(朝日新聞社 1989 年) 2 階 C13 R783.7/7°

『選抜高等学校野球大会 60 年史』(毎日新聞社 1989 年) 2 階 C13 R783.7/7°



図書館活用術

～「JIS ハンドブック」コーナーについて～

JIS とは、「日本工業規格 (Japanese Industrial Standards)」といい、工業標準化法(昭和 24 年)に基づき制定される、日本の国家規格です。2013 年 3 月末現在で 10,399 件が制定されています。

「自動車」や「医療機器」など工業製品に関するもの以外にも、「色彩」「リサイクル」「マルチメディア」など、様々な産業カテゴリーで分類された規格や測定方法などがわかります。

現在、総合図書館 2 階 E5 には、2013 年版の「JIS ハンドブック」とバックナンバーの一部を置いています。閉架書庫にもありますので、詳しくは RC1 カウンターでお尋ねください。

※日本工業標準調査会のホームページ【<http://www.jisc.go.jp/>】で、現在有効な JIS の本文を閲覧することもできます。



「子ども読書フォーラム」が開催されます!

2013 年 12 月 7 日 (土) 午前 11 時～午後 4 時
場所 あいれふ (中央区舞鶴 2 丁目)

今年も、絵本の読み聞かせ、紙芝居、劇、手遊びなど、読書に親しみが湧いてくるようなイベントが行われます。ぜひ、ご参加ください!